

J A 研究募集案内

令和元年度 J A 研究表彰奨励事業

J A 全中では、J A に関する研究を振興・奨励するため、昭和48年度から J A および協同組合に関する研究についての研究費の一部助成を行っています。

つきましては、以下の実施要領を参照のうえご応募下さい。また、適当な方があれば応募をおすすめくださるようあわせてお願い申し上げます。

全国農業協同組合中央会

I. JA研究奨励費の助成

JA運動の発展に寄与することをねらいとして、次の課題を研究しようとする方に対して、研究費の一部助成を行うものです。

(1) 助成の対象となる研究課題

特別研究課題

① 現代社会における農業協同組合（JA）の存在意義と役割について

【解題】

わが国は人口減少時代に突入し、地方においては高齢化・人口減少等により地域社会の崩壊が危惧されている。また、TPPなどの国際交渉により輸入農産物の更なる増加が予想され、今後のわが国農業への深刻な打撃を与えることが懸念される。こうした状況にあって「食と農を基軸に地域に根ざした協同組合」としてのJAの役割が期待されている。しかし、自主・自立である協同組合とは相容れない「農協改革」がすすめられようとしている。改めて、国民に対し「農業協同組合（JA）の存在意義」の理解を求めていくことが重要である。こうした中で、准組合員、地域住民を含めた地域社会においてJAが果たすべき役割について、提言いただきたい。

② 「農業者の所得増大と地域の活性化」を図るJAの戦略的行動について

【解題】

JAグループは、“自ら総合事業を展開し、農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に取り組む”ことを自己改革の基本的な考え方としている。JAグループは、これまで「農業振興と地域振興が一体となった」取り組みをすすめてきたが、さらに農業者の所得増大、農業生産の拡大とともに地方経済・社会・コミュニティの維持・発展に取り組む必要があるが、こうした戦略的な取り組みについて提言いただきたい。

一般研究課題

- ① 農業協同組合または協同組合に関するもの
- ② 協同組合教育の振興に関するもの
- ③ JA全国大会に関するもの

(2) 応募方法

この研究奨励費の助成を希望する方は、この冊子に編綴している申込書に記入し、令和元年7月19日（金）【必着】までに（一社）日本協同組合連携機構へ申し込んで下さい。

(3) 応募資格

特別研究課題

- ✓ 将来とも日本において J A に関する研究を続ける見込みがある方であれば資格は問いません。
- ✓ グループでの応募においては、農業協同組合職員または農業協同組合関係研究機関職員を 1 名以上加えることを推奨します。
- ✓ 「一般研究」との重複応募はできません。

一般研究課題

- ✓ 令和元年 5 月末現在 45 歳未満の方で、将来とも日本において J A に関する研究を続ける見込みのある方
- ✓ 大学の教授およびこれと同等の職位にある方は対象になりません。
- ✓ J A 職員の方は年齢は問いません。
- ✓ 平成 26 年度以降助成を受けた方は対象になりません。
- ✓ 「特別研究」との重複応募はできません

(4) 選考方法

助成を希望する方からの申し込みにもとづいて、選考委員会及び奨学委員会の審議を経て選定します。

(5) 奨励の方法

選考の結果、適当と認めたものについては

- ✓ 特別研究では 1 件につき 100 万円以内
 - ✓ 一般研究では 1 件につき 50 万円以内
- を限度に本会の決定した基準にもとづいて研究奨励費を助成します。

(6) 選考結果の通知

選考の結果は、一般社団法人 日本協同組合連携機構から応募者あて個別に通知いたします。

(7) 研究成果の報告

研究成果については、令和 2 年 12 月末までに所定の様式に従い、400 字詰め原稿用紙で特別研究 120 枚以内 (図表を含む)、一般研究 60 枚以内 (図表を含む) を目安にワープロによりご提出いただきます。また、中間報告会を令和 2 年 12 月までに行います。

(8) 研究成果の公表

報告いただいた令和元年度の奨励研究の成果については、令和 3 年 10 月頃に発行予定の『協同組合奨励研究報告』に掲載、公表することになります。

また、『協同組合奨励研究報告』に掲載、公表後、他に発表する場合においても事前に本会と協議した後に行うこととし、本会から「研究奨励費」の助成を受けたことを付記しなければなりません。

(9) 問合せ先

この事業についてお問い合わせは、次のいずれかにご連絡ください。

✓ **J A全中 教育部 教育企画課**

〒100-6837 東京都千代田区大手町 1-3-1 J Aビル 36 階

TEL : 03-6665-6260 FAX : 03-3217-5073

✓ **日本協同組合連携機構 協同組合連携部**

〒162-0826 東京都新宿区市谷船河原町 11 番地 飯田橋レインボービル 5 階

TEL:03-6280-7254 (代表) FAX : 03-3268-8761

✓ **各 J A 都道府県中央会の教育担当部署**

※ 応募された方の個人情報については、J A全中「個人情報保護方針」にもとづき厳正に保持・管理いたします。

平成30年度JA研究奨励費助成対象研究

JA研究表彰奨励事業としてJA研究賞2件に対し副賞(1,000,000円)を贈呈するとともに特別研究1件に対し研究費助成(986,772円)を、一般研究4件に対し研究費助成(2,000,000円)を行った。

(1) 平成30年度「JA研究賞」

書名	北海道から農協改革を問う
著者	小林 国之
発行	筑波書房
副賞	500,000円

書名	反トラスト法と協同組合
著者	高瀬 雅男
発行	日本経済評論社
副賞	500,000円

(2) 平成30年度 助成対象研究

特別研究

特別研究

氏名	北田 紀久雄 (キタダ キクオ)
所属	東京農業大学 国際食料情報学部
職名	教授
テーマ	JAグループにおけるGAP推進による農業者所得拡大と労働安全性確保に関するビジネスモデルとその戦略的実践システムの展開
助成金額	986,772円

一 般 研 究

一般研究 No.1

氏 名	牧 千夏 (マキ チナツ)
所 属	名古屋大学大学院博士課程後期課程
職 名	院生
テ ー マ	産業組合における社会思想的側面の研究
助成金額	500,000 円

一般研究 No.2

氏 名	三浦 一浩 (ミウラ カズヒロ)
所 属	一般社団法人地域生活研究所
職 名	研究員
テ ー マ	協同組合によるエネルギー事業の特徴とその可能性について
助成金額	500,000 円

一般研究 No.3

氏 名	金丸 大輔 (カナマル ダイスケ)
所 属	北海道大学大学院農学院博士後期課程 2 年
職 名	院生
テ ー マ	合併による地域の変化に対応した農業振興組織に関する研究
助成金額	500,000 円

一般研究 No.4

氏 名	大仲 克俊 (オオナカ カツトシ)
所 属	岡山大学大学院環境生命科学研究科
職 名	准教授
テ ー マ	構造再編下の大規模水田作経営体の経営展開における J A の役割
助成金額	500,000 円

Ⅱ. 令和元年度 J A 研究奨励事業申込みの留意事項

〔申込書の書き方について〕

申込書の各項目については具体的に詳しく書いて下さい。なお、原則として別紙は認めませんのでこのスペース内に収まるようにお書き下さい。また、共同研究者については別紙に記入し、2名以上の場合は、コピーして記入して下さい。

なお、特別研究と一般研究では申込みが異なるのでご注意ください。

J A研究成果の表彰

本会では、J Aに関する研究の成果についても次のような要領で表彰事業を行っています。

〔表彰の対象〕

平成 29 年 1 月以降平成 30 年 12 月末までの期間に、刊行あるいは発表された個人（複数の場合を含む）の J Aに関する著書、研究論文等。

〔表彰の方法〕

すぐれたものを選考委員会及び奨学委員会の審議を経て選定し「J A研究賞」と副賞（1 件につき 50 万円以内）を贈呈します。

〔研究論文等の送達〕

大学・研究所あるいは個人等で発表された優れた研究成果（著書、論文、学術紀要等）がありましたら、J A全中教育部までご送達ください。

平成令和元年度 J A 研究表彰奨励奨学委員会委員名簿

所 属	役 職	氏 名
全国農業協同組合連合会	総務人事部長	園 山 學
全国共済農業協同組合連合会	常務理事	山 田 康 弘
農林中央金庫	系統人材開発部長	市 川 崇 行
全国厚生農業協同組合連合会	参事	榛 葉 道 尚
一般社団法人 家の光協会	代表理事専務	高 杉 昇
株式会社 日本農業新聞	常務取締役	廣 田 武 敏
株式会社 農協観光	常務取締役	青 木 貴 晴
全国農業協同組合中央会	常務理事	石 堂 真 弘

令和元年度 J A 研究表彰奨励選考委員会委員名簿

所 属	役 職	氏 名
東京農業大学	名誉教授	白 石 正 彦
(一社)長野県農協地域開発機構	研究所長	小 松 泰 信
(一社)農業開発研修センター	理事客員研究員	青 柳 齊
北海道大学	教授	坂 下 明 彦
J A 全農	経営企画部次長	新 妻 成 一
(一社) J A 共済総研	専務理事	永 吉 直 人
(株)農林中金総合研究所	理事研究員	小野澤 康 晴
J A 全中	教育部長	木 村 政 男

諸 申 込 書 式

(別紙様式 1 - 1)

令和元年度 J A 研究奨励事業応募申込書 (特別研究用)

整理No.		
1. 申請者 共同研究の場合は責任者のみを記入し、他は別の用紙に同様に記入してください。	フリガナ ()	住所 〒
	氏名 _____	TEL - -
	生年月日 年 月 日	FAX - -
	略歴	所属 職名 勤務先 〒 所在地 TEL - - FAX - -
2. 研究しようとする課題名		
3. 研究の目的とその特色 (500字以内でお願いします)		
4. 研究の方法		
5. 研究のスケジュール		

<p>6. 研究費総額の概要</p>	<p>(1) 調査費</p> <p>○交通費 _____ 円</p> <p>明細</p> <p>○宿泊代 _____ 円</p> <p>○謝金 _____ 円</p> <p>○調査票印刷代・収集費 _____ 円</p> <p>○アルバイト代 _____ 円</p> <p>(2) 図書購入費 _____ 円</p> <p>(3) その他の費用（具体的に） _____ 円</p> <p style="text-align: right;">研究費総額 _____ 円</p> <p>※ (1)は調査票印刷代・収集費を除き@ × 人で書いてください。</p>
<p>7. この課題に関して 他から研究助成等を受けている場合その概要</p>	
<p>8. これまでの 研究歴、業績</p>	

(備考)

1. 申込書は、令和元年7月19日（金）までに下記あて提出して下さい。
 (一社)日本協同組合連携機構 協同組合連携部
 〒162-0826 東京都新宿区市谷船河原町11番地 飯田橋レインボービル5階
 TEL : 03-6280-7254 FAX : 03-3268-8761 E-MAIL n-ogawa@japan.coop
2. 研究奨励費助成対象者は、選考のうえ決定し、応募者に連絡いたします。
3. 研究奨励費を受けた方は、令和2年12月までに中間報告会で報告をしていただきます。
4. さらに、令和2年12月末日までに研究成果を400字詰原稿用紙で120枚（図表含む）程度にまとめてワープロにて提出いただきます。
5. 研究成果は「協同組合奨励研究報告」に掲載・公表するまでは原則的に他の研究誌や学会等には発表できません。
6. 申込書の各項目については、具体的に詳しく書いて下さい。なお、原則として別紙は認めていませんので、このスペース内に収まるようお書き下さい。

(別紙様式 1 - 2)

令和元年度 J A 研究奨励事業応募申込書 (一般研究用)

整理No.		
1. 申請者 共同研究の場合は責任者のみを記入し、 他は別の用紙に同様に記入してください。	フリガナ ()	住 所 〒
	氏 名 _____	TEL - -
	生年月日 年 月 日	FAX - -
	略 歴	所 属 職 名 勤務先 〒 所在地 TEL - - FAX - -
2. 研究しようとする 課 題 名		
3. 研究の目的と そ の 特 色 (500字以内でお願い します)		
4. 研究の方法		
5. 研究の スケジュール		

<p>6. 研究費総額の概要</p>	<p>(1) 調査費</p> <p>○交通費 _____ 円</p> <p>明細</p> <p>○宿泊代 _____ 円</p> <p>○謝金 _____ 円</p> <p>○調査票印刷代・収集費 _____ 円</p> <p>○アルバイト代 _____ 円</p> <p>(2) 図書購入費 _____ 円</p> <p>(3) その他の費用（具体的に） _____ 円</p> <p style="text-align: right;">研究費総額 _____ 円</p> <p>※ (1)は調査票印刷代・収集費を除き@ × 人で書いてください。</p>
<p>7. この課題に関して 他から研究助成等を受けている場合その概要</p>	
<p>8. これまでの 研究歴、業績</p>	

(備考)

1. 申込書は、令和元年7月19日（金）までに下記あて提出して下さい。
 (一社)日本協同組合連携機構 協同組合連携部
 〒162-0826 東京都新宿区市谷船河原町11番地 飯田橋レインボービル5階
 TEL : 03-6280-7254 FAX : 03-3268-8761 E-MAIL n-ogawa@japan.coop
2. 研究奨励費助成対象者は、選考のうえ決定し、応募者に連絡いたします。
3. 研究奨励費を受けた方は、令和2年12月までに中間報告会で報告をしていただきます。
4. さらに、令和2年12月末日までに研究成果を400字詰原稿用紙で60枚（図表含む）程度にまとめてワープロにて提出いただきます。
5. 研究成果は「協同組合奨励研究報告」に掲載・公表するまでは原則的に他の研究誌や学会等には発表できません。
6. 申込書の各項目については、具体的に詳しく書いて下さい。なお、原則として別紙は認めていませんので、このスペース内に収まるようお書き下さい。

令和元年度 J A 研究奨励事業応募者申込書

[共同研究者用]

整理No.	
氏名	
住所〒 TEL FAX	
生年月日	所属 職名
略歴	勤務先 所在地
共同研究者 2人以上いる場合はコピーし、同様に記入して下さい。 申請者氏名 ()	TEL FAX